

『すまいる通信』配信のお知らせ

毎月20日に
配信します

『すまいる通信』は、あらかじめご登録いただいた方にパソコンや携帯電話などのメールを利用して、支援に役立つ情報やイベントをお知らせするサービスです。ぜひご利用ください。

(情報利用料は無料。ただし通信料は自己負担となります)

新規登録、登録内容の変更・登録の解除

下記のアドレスまたは右のQRコードより案内に従い、空メールを送信してください。

▶ <http://www.setagaya-mail.jp/top.html>



【配信元・問合せ先】

世田谷区障害福祉担当部 障害者地域生活課 TEL 03-5432-2227 FAX 03-5432-3021

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日(祝日及び年末年始を除く)
午前9時～午後6時

利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。
相談・療育をご希望される場合は、まず、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」にお電話ください。

TEL 03-5727-2236(相談専用)

〒157-0074 世田谷区大蔵2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター2・3階
TEL 03-5727-2235(代表)
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

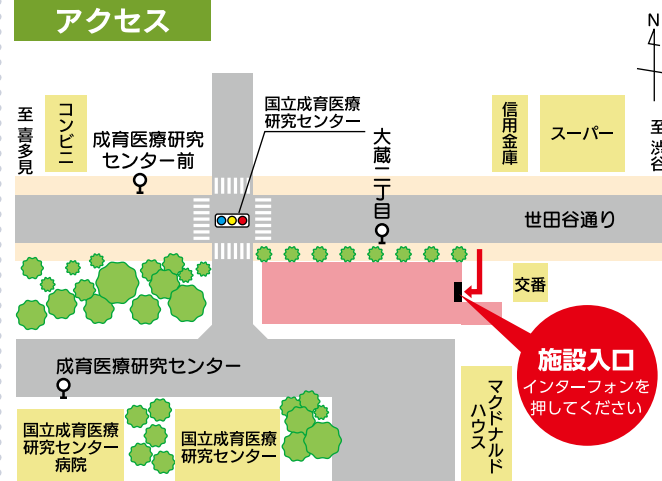
業務受託：社会福祉法人 トボスの会

〒123-0844 足立区興野2-18-12
TEL 03-5837-4830 FAX 03-3890-8121

編集後記

参加者の方から頂いたアンケートからは「発達障害の他に愛着障害という観点も関連付けて支援を考えていきたい」「家族への関わりも大切だと感じた」といった支援者からの声が多く見られました。ご家族からは、「発達障害の視点だけでは理解できなかった子どもの状態に納得を得られた」という声も頂きました。今号を通じて講演会にご参加できなかった方にも、当日の雰囲気をお届けできたらと思います。

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス

【渋24】 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅

東急バス

【都立01】 成城学園前駅 ↔ 都立大学駅北口

【等12】 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所

【用06】 成城学園前駅 ↔ 用賀駅

小田急バス

【渋26】 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

東急コーチ

【玉31・32】

二子玉川駅 ↔ 成育医療研究センター

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。東急コーチ、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。

Gpress せたがや

第31号
2017
10月発行

「ジープレスせたがや」
<http://www.ryo-iku.jp>
GpressのGは愛称「げんき」のGです。

発達障害理解のための講演会

発達障害と愛着障害

平成29年8月24日 成城ホールにて、

福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授

杉山 登志郎氏 による講演会を開催しました。

中面にて内容をご紹介します。



「げんき」では、発達障害に関する全般的なご相談をお受けしています。

まずはお電話ください

03-5727-2236 (「げんき」相談専用番号)

発達障害

発達障害の一覧を図に示します(図1 参照)。発達の領域と医学的診断名です。上の3つがメインの発達障害で、全体的な認知の障害である知的障害、社会性の障害である自閉症スペクトラム、注意行動力の障害である注意欠如多動性障害AD/HDです。残り3つの学習障害、発達性協調運動障害、発達性言語障害は、上の3つのメインの発達障害に付随して起きてることが多いです。まれに学習障害だけという症例もありますが、滅多にはいません。一番下の愛着の形成と情動コントロール発達の障害は反応性愛着障害という医学的診断名ですが、これは子ども虐待で起きる問題です。私は第4の発達障害という命名をして、子ども虐待を発達障害モデルで捉えることを提案しました。子ども虐待によって起きてくる脳の変化は一般的な発達障害よりも激烈だからです。子ども虐待は大変に増えています。なぜ増えているのか？治療をしていないからです。すると、虐待を断ち切ることができず、虐待を受けた側が今度は親になって加害側になるという連鎖が生じ、その結果として、子ども虐待が増えてしまうわけです。

図1

はじめに基本的なことから・・・

発達障害の一覧

発達の領域	発達障害の医学的診断名	知的障害の有無
認知の発達	知的障害	+
社会性の発達	自閉症スペクトラム障害 (これまで広汎性発達障害)	+
		—
注意力・行動コントロールの発達	注意欠如多動性障害	基本的には—
学習能力の発達	学習障害	基本的には—
手先の細かな動きの発達	発達性協調運動障害	—
言語能力の発達	発達性言語障害	—
愛着形成と情動コントロールの発達	反応性愛着障害	+
		—

※+記号は有、—記号は無を示しています。

愛着形成

愛着形成は大変に大事なことです。赤ちゃんは0歳後半で探索ができるようになります。探索に出かけて、いろんなことをやってみて、うまくいかないと安全基地としてお父さんお母さんのところに舞い戻って、エネルギーチャージをしてまた探索に行くわけです。この図2に描いた愛着の輪をぐるぐる回って行くうちに、養育者が赤ちゃんの中に内在化していきます。すると目の前に存在していなくても、不安に襲われなくなってきます。内在化された養育者の内なる眼差しだけで、不安にならなくなる。これが愛着の形成です。

愛着形成の重要性を発達臨床で何度も再確認しました。対人関係の基盤でもあるし、情動のコントロールができる上で必要ですし、子どもの社会的な行動の支えでもあります。さらにもっと大切なことはトラウマからの防波堤になることです。みなさんが辛い体験をした時に、どうやって乗り越えるのかを思い浮かべていただくとよくわかります。自分が大事にしている人、それから自分を大事にしてくれた人が支えになります。ですから愛着の未形成は、トラウマからの防波堤を一段低くしてしまうのです。

図2



愛着障害とは

愛着障害とは、一言で表すと安心感がない状態で育った子どものことです。単純な発達障害に比べて、ひねりが入った反応が起きてきます。「やってみようか」というと、「ダメ」「イヤ」「やらない」。それから他の子どもと全く協調ができない。平気で嘘をつく、落ち着きがなく常にイライラとかしている。叱られてフリーズするのはわかるけど、褒められてもフリーズしてしまう。いまや発達障害のみならず、愛着障害と一緒に認められるお子さんが増えてきました。

発達障害とトラウマとの複雑な絡み合い

発達障害がトラウマを招き寄せやすいのは診断が遅れた時です。つまり自閉症スペクトラムの社会性の問題や、AD/HDの衝動的な行動を鰯の問題と誤解すると虐待が起きやすくなります。もし発達障害に子ども虐待が掛け算になるとどうなるか。非行が起きやすいなど、発達障害の状態が大変悪化することがわかっています。その一方で、この議論が複雑になるのは、子ども虐待の後遺症としての愛着障害の臨床像が、発達障害に非常によく似ているということです。つまり相互に、鶏にも卵にもなるわけです。

子ども虐待は、家族の病理ですから、子どもだけ治療してもらいがあきません。親の治療も必要です。子ども虐待が掛け算になった発達障害の親子に対して、私は子と親の治療を一緒にやってきました。

発達障害と愛着障害

世界的なトラウマの権威であるヴァン・デア・コークが発達性トラウマ障害という診断名を提言しています。子ども虐待によって、長期にわたってトラウマにさらされると、脳に変化が起き、AD/HD、うつ病、解離、双極性障害など、本来は相互に無関係とされている病気が一度に起きてくる。この様に愛着障害が認められる場合には、対応が難しくなってくるのです。

すぎやまとしろう
講師 杉山登志郎氏

プロフィール
福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授

久留米大学医学部卒業後、久留米大学医学部小児科、名古屋大学医学部神経科、静岡県立病院養心荘、愛知県心身障害者コロニー中央病院精神科医長、カリフォルニア大学留学などを経て、平成13年あいち小児保健医療総合センター保健センター長に就任。平成22年浜松医科大学特任教授を経て、平成29年4月から現職。精神科医、医学博士。

